

友愛

Y U A I

116

平成31年1月1日発行

特集 地域とのつながりを多彩に
深めています

特集 優しさあふれる笑顔と言葉がここに

- ふれあい通信
- スタッフエッセイ



社会福祉法人 北海道友愛福祉会



地域とのつながりを 多彩に深めています

町内会や小学生の皆さんなど、地域の方とのつながりを深め、地域貢献に取り組んでいる活動をご紹介します。



1,2 ゆうあい人形劇では子どもたちと保護者の方々が演目やクイズなどを楽しみました。3 いもむしの人形を作るワークショップを開催。ご利用者さんと子どもたちが互いに教えあいながら人形作りを体験しました。4 たくさんの人形を操る人形劇団ひよっこの方たち。5,6 雑貨カフェKyuaでは多くのハンドメイドショップが出店。かわいい手作り雑貨を前に訪れた方たちは真剣に品定めをしていました。7,8,9 キッズボランティアに参加してくれた子どもたち。

ントに協力したものです。部長の小林さん、副部長の谷さんがハンドメイド作家として活動されており、道内18人の作家が出店しました。
子どもたちの姿も多く、会場は終始にぎやかな雰囲気。「今年は施設内スタンプラリーも開催し、子どもたちだけでも楽しみました」（小林さん）、「近所のイベントで作品を出しやすい機会になり、ありがたいですね」（谷さん）。ホームの方々も楽しみましたよ！

小学校への出前授業や キッズボランティアも

福祉は幸せをつくる仕事ですが、「施設の中だけでなく、地域も幸せにする仕事です」と、金子里美さん。それを子どもの時から理解し、成長してもらおう「福祉教育プログラム」の取り組みの一環として、対雁小学校で3年生約100人を対象に、毎年秋に出前授業を行っています。金子さんと介護士が講師となり、福祉の仕事の語るとともに、子どもたちの質問にも答えます。

それが
きっかけに
なり、静苑
ホームで
ご利用さん



生活相談員
金子 里美さん

初めて見る人形劇に 子どもたちもワクワク！

「デジタル全盛時代に、人形劇というアナログなイベントが新鮮だったようですね」

そう語るのは、担当の成田孝友さん。このエリアは新興住宅地で小学生が多いため、地域の方とのつながりを深めようと、親子で楽しめる人形劇を企画しました。

10月6日、静苑ホームの地域交流ホールで、「人形劇団ひよっこ」が5分から18分の演目を4つ上演。親子合わせて90人以上が観賞し、盛り上がりました。アンケートでも「人形がたくさんあって、驚いた」「ワークショップのいもむし作りが面白かった」など、子どもたちに大好評でした。



在宅係長
成田 孝友さん

大盛況だった 雑貨カフェKyua(キュア)

10月12日、静苑ホームの地域交流ホールで開かれた「雑貨カフェKyua」は、地元の新栄台西自治会福祉部のイベ

と一緒にぬり絵をするなど、キッズボランティアに参加してくれる子どもたちもいます。「ご利用者さんにはいい刺激になり、子どもたちも相手の気持ちをくんで行動できるようになります」と、金子さんは手応えを語ってくれました。



Pick Up! 「いもむしがかわいい！」 ワークショップ

人形劇の上演に先立って、ワークショップが開かれました。劇団員の方が講師となり、発泡スチロールとカラフルなぼんてんで「いもむし作り」を体験。参加者もお互いに教え合いながら、楽しみました。「子どもたちの集中力を高めてくれました」とお母さんたちからも大変好評でした。

ふれあい通信

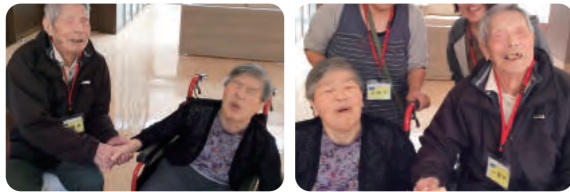
北海道友愛福祉会とご利用者の皆さんの
日々のふれあいを、あふれる笑顔の
写真と一緒にご紹介します。

静苑ホーム

HOL～笑顔で喜びを感じられる日々を目指して



七夕の短冊に願いを込め『妻に会いたい』と記したY様は、昨年5月の入所以来、他施設に入所してしまった奥様と離ればなれの生活を送っていましたが、その思いを形にすべく、ご家族や他施設職員のご理解・ご協力をいただき、先日1年ぶりの再会を果たすことができました。ご夫婦の笑顔に胸を熱くする職員もまた幸せな時間を共有することができました。今後も一人一人の心に寄り添い、ハピネスオブライフ(HOL)の実現に向け、職員一同取り組んでいきます。



家族と笑顔の家族会

恵明園



ご利用者さ
を行ってお
笑顔に出会
やハロウイ
させ、お子
これから

んとご家族が楽しめるイベントとして、恵明園家族会、今回も多くのご家族にご来園いただき、たくさんのお楽しみがありました！平成30年度の家族会はステージイベント飾りで盛り上げました。また、子どもコーナーも充実し、お孫さんも来やすい雰囲気づくりをしました。もご利用者さんとご家族が楽しく交流できるよう取り組んでいきますので、遊びに来てくださいね！

ケアハウス ゆうあい

みんなで楽しく！健康の秘訣！！



ケアハウスの皆さんの中で、有志の方々が集まり、日々いろいろな活動が行われています。カラオケや手芸、園芸活動などが楽しまれています。中でも今年の春から、女性による麻雀が活発に行っています。お互いに声を掛け合い、週に1～2回午後の2～3時間程度行われています。時に大きく負けてしまうときやミスをしてしまったときには、皆さんで大笑いしながら楽しんでいます。腕や頭を使い運動するだけでなく、普段の出来事などを談笑される様子が多く見られますが、これが皆さんにとって、日々健康に過ごす秘訣かもしれません。これからも長く続け楽しんでいただきたいと思います。

愛保育園

毎年恒例の焼き芋パーティー♪



子どもたちが拾った落ち葉を使って火をおこし、芋は一人一人新聞紙とアルミホイルで包み、各クラスごとに園庭へ出ておこした火の中に芋を入れました！熱気が怖くて恐る恐る入れている子が多かったですよ。出来上がった焼き芋はお外のテラスに座って食べ、「あつ～い！」「おいしい～！」などとお友達や先生と会話を楽しみながら食べていましたよ♪「またやりたーい！」の声がたくさん聞こえた焼き芋パーティーでした！

野幌第一地域 包括支援センター

地域で活躍「元気アップサポーター」

江別市で養成された元気アップサポーターと一緒に介護予防を広める活動を実施。サポーターの方々は、自らの介護予防に取り組み、仲間と一緒に楽しく活動されています。活動の一部を紹介します。



新栄会館にて月に1回「にっこりさろん」

体操やサポーターが準備した頭の体操、おしゃべりを楽しみます。名前を通り、にっこり笑顔の楽しい場所です。1回100円でどなたでも参加できます。



出前体力測定

高齢者クラブなどの団体に体力測定に出向きます。“体力の変化を確認できる”と大好評。

第1回 和顔愛語フォトコンテスト

優しさあふれる笑顔と言葉がここに

「一番のえがお」をテーマに和顔愛語フォトコンテストを開催しました。



優秀賞

題名 以心伝心
スマイル☺

和顔愛語の理念を
全職員で共有するために

私たちの法人の理念の根本にあるのが「和顔愛語（わげんあいご）」の精神です。これは仏教の教えの一つで、穏やかな笑顔と優しい言葉のこと。自分から笑顔になる、優しい言葉を掛ける、先に相手に幸せを与える。そんな慈悲の気持ちに、一歩でも近づきたいという願いを込めています。

「この理念を全職員で共有するために、毎年イベントを開いています。今年はフォトコンテストに取り組みました」と、担当の前田顕さん。テーマは「一番のえがお」。ご利用者さんと職員が一緒に写っている写真を募集し、応募総数60点（1人1点に限る）の中から、理事が審査員となって優秀賞1点、入選4点を選びました。

職員は皆、ご利用者さんの笑顔を引き出すことに、日ごろから取り組んでおり、このフォトコンテストでもたくさんの笑顔があふれています。



優秀賞受賞
友愛ナーシングホーム
村瀬 香奈さん



題名 言葉はいらない!?

外のテラスで、大きいお友達が小さい子を見に来て、「かわいい♥」と盛り上がっているところです!

入選 愛保育園
筒井 保乃華さん



題名 #女子トーク

このような賞に選んでいただき、ありがとうございます。これからも、ご利用者さんの笑顔を引き出せる介護士を目指し頑張ります。

入選 静苑ホーム
小川 華蓮さん



題名 幸せいっぱい!笑顔いっぱい!

今回このような賞に選ばれ、とてもうれしく思います。今後もご利用者さんが毎日笑顔で元気に過ごしていただけるよう何事にも誠意をもって努めていきます。

入選 静苑ホーム
石原 敏寛さん



題名 かき氷、冷たいね

ご利用者さんの満面の笑みをカメラに収めることができ、うれしく思います。また、入選作品として選んでいただき、ありがとうございます。

入選 静苑ホーム
三澤 一恵さん



こんな笑顔を引き出す
介護職の魅力を伝えたい

今回のコンテストで優秀賞を受賞した村瀬香奈さんは、昨年からは法人の広報担当を務めています。そのため、日常的にカメラを持ち歩き、入所・通所のご利用者さんをはじめ、職員や風景に至るまで、よく撮影しています。

「でも、応募を意識していたわけではなく、たまたま夏まつりの撮影に歩き回っていた時の1点です」と言います。この1枚にピンときて、迷わず選んだのだとか。

「今は深刻な人手不足で、介護職にもなかなか人が集まってくれません。でも、この仕事には人の笑顔を引き出すこんなに素晴らしい魅力があります。私も現場の人間でしたから、この写真を見る方にも、それを感じていただけたらと思います。このフォトコンテストが、来年も続いてくれるといいですね」と、笑顔で語ってくれたのが印象的でした。



スタッフ エッセイ

音楽療法士の資格を取得して7年目になります。音楽の力や人への影響は知れば知るほど奥が深く、まだまだ勉強中ではありますが“1日のほんの少しのいい時間”をさまざまな方と一緒につくっていただけたいと思っています。

グループホームゆうあい 志田 桃



行事などで手芸作品を作る機会があり、老眼にむち打ち、久々の針仕事に奮闘しています。手芸の楽しさに目覚め、この春から作品作りを始めました。これからも長く続け、皆さんにご披露できるくらいまで頑張りたいと思っています。

ケアハウスゆうあい 藤森 功子



小さい頃から海外が大好きで、高校生の頃から2年に1度、海外旅行をしています。これまでにタイやフィリピンに行って、今までに体験したことのない文化や食事、現地の人たちに出会える旅行が大好きになりました!各地で見かけたバックパッカーに興味をわき、20代のうちに世界一周旅行をすることが目標になりました!これから苦手な貯金を頑張って、旅費がたまり次第、行ってきます!

友愛ナーシングホーム 鎌田 彩季乃



スノーボードのオフトレを兼ねて、4月からスケートボードを始めました。おかげで体力もつき、体が軽くなりました。現在は、キックリップという技を練習しています。雪が降るまでには、板に乗れるようになりたいと思っています。

静苑ホーム 田中 健太



ドラゴンクエスト(通称:ドラクエ)は2016年に誕生30周年を迎え、その勢いは衰えを知らない。先日、70代のご利用者さんとその話題で大いに盛り上がり、世を超えた勇者の存在に脱帽した。私も勇者⇒夫⇒父へと転職し、宿屋⇒保育園⇒施設を往復するのみ。新作のドラクエをプレイすべく、今日も宿屋で炊事洗濯にいます!

静苑ホーム 川岸 正和



小学生の頃から好きだったダンス。高校でダンス部に入り、HIP-HOPやジャズダンスを踊って毎日楽しんでいました!また、東京代々木体育館で開催された全国大会にも出場!大学でもYOSAKOIのチームに入り、厳しい練習の中、ファイナルステージ上位10チームに選ばれ、汗と涙と笑顔の青春時代になりました。今でもダンスは大好きです!

愛保育園 竹内 千尋



社会福祉法人 北海道友愛福祉会 <http://www.yuaifukushi.jp>

介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
静苑ホーム

〒069-0806 江別市新栄台46番地の10
TEL (011) 389-4165 FAX (011) 389-4166

友愛野幌

TEL (011) 391-3540 FAX (011) 389-4170
●通所介護 ●訪問介護
●居宅介護支援・在宅介護支援センター
●福祉移送サービス

児童福祉施設
愛保育園

〒069-0812 江別市幸町8番地の9
TEL (011) 384-0330 FAX (011) 382-6587

江別盲人養護老人ホーム・
特定施設入居者生活介護・短期入所生活介護
恵明園

〒067-0027 江別市豊幌美咲町23番地の8
TEL (011) 383-3351 FAX (011) 383-3598

友愛江別

TEL (011) 383-3362 FAX (011) 383-3598
●通所介護
●居宅介護支援・在宅介護支援センター

認知症対応型共同生活介護
グループホームゆうあい

〒067-0027 江別市豊幌美咲町23番地の8
TEL (011) 383-3378 FAX (011) 383-3356

軽費老人ホーム
ケアハウスゆうあい

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12
TEL (011) 382-1123 FAX (011) 382-1022

介護老人保健施設・短期入所療養介護
通所リハビリテーション・居宅介護支援
友愛ナーシングホーム

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12
TEL (011) 382-1110 FAX (011) 382-1022

江別市受託事業
野幌第一地域包括支援センター

〒069-0801 江別市中央町31番地の6
TEL (011) 381-2940 FAX (011) 381-2941
●介護予防支援